



カヤバ史料館20年の歩み

小牟田 久 美 ・ 藤 澤 杏 子 ・ 佐 藤 智 則

1 はじめに

2025年3月にカヤバ創立90周年、10月にはカヤバ史料館設立20周年を迎えるに当たり、貴重な紙面をお分けいただいた。

カヤバ史料館の「設立の背景」と「展示改修の変遷」については各々本誌40号（2010.4）、本誌69号（2024.10）に詳細が記載されているので、本報ではその点については簡単な記述に止め、20年間の主な出来事と、神奈川県企業博物館連絡会加盟についてふれてみたい。



写真2 2024年現在の1Fフロア

2 設立の背景

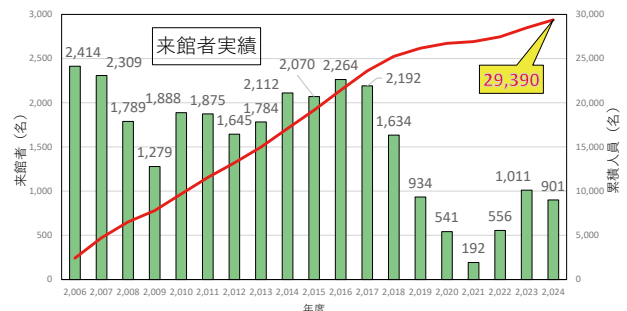
カヤバ史料館はカヤバ創立70周年記念事業の一環として2005年10月に社内従業員向けに開館し、翌年4月に外部向けにも一般公開を開始した技術史料館である。所在地はカヤバ相模地区の第一研究棟1・2F（約750㎡）から構成されている（写真1、写真2）。



写真1 2005年開館当時の1Fフロア

3 来館者数と展示点数

2024年11月末現在の来館者数は累計で29,390名となっている（図1）。また入社教育研修のカリキュラムにカヤバ史料館見学も組み込まれており、今までに1,901名の新入社員の方が来館・研修されている。コロナ渦などにおいてWeb開催もあり、その人数も合わせると2,044名の研修実績となる。引き続き研修のポイントでもある「カヤバ技術の歴史・奥深さ・幅広さを伝える」「カヤバDNAと経営理念の浸透」「規範意識の醸成」などのお役にたてればと考える。



注）2024年度は11月末までの実績人員

図1 来館者実績

展示品数は設立当初は約120点であったが、現在は約630点の展示となっており、少しずつではあるがその充実を目指している。

「主要製品年表」・「歴史年表」の更新を2011/2016/2023年と行ってきており、SA展示・HC展示・シール展示等の更新も随時行ってきた(写真3)。



写真3 2024年現在の主要製品年表

4 20年間の主な出来事

2005年10月に社内向けに開館したカヤバ史料館であるが、その主な出来事を時系列的に記載してみる。

- 2005.10 ・カヤバ創立70周年記念事業の一環として社内従業員向けに開館
- 2006.4 ・外部向けに一般公開を開始
- 2006.6 ・「オートメカニック 6月号」にカヤバ史料館一般公開開始の記事が掲載
- 2006.8 ・神奈川県企業博物館連絡会への加盟(*詳細は第5章に記述)
- 2010.2 ・鉄道車両用セミアクティブ制御コントロールシステム更新展示
- 2011.10 ・「主要製品年表」更新
・「歴史年表」更新
- 2012.7 ・オレオ注油ポンプキット展示(写真4)



写真4 オレオ注油ポンプキット

- 2014.2 ・ステアバイワイヤシステム展示(写真5)



写真5 ステアバイワイヤシステム

- 2014.3 ・ドライブレコーダ展示
- 2014.6 ・油機エリア大幅レイアウト変更
- 2015.1 ・「主要製品案内パネル」(以下サインタワー) 8基の補強対策実施(写真6)



写真6 主要製品案内パネル

- 2016.5 ・「特許年表」設置
・「主要製品年表」更新
- 2016.12 ・「歴史年表」更新
- 2017.2 ・バルブ铸件用中子展示
- 2017.7 ・「かながわサイエンスサマー」に協賛・参画(7～8月)
- 2018.2 ・第45回東京モーターショー出展のEPS体感機移設設置(写真7)



写真7 EPS体感機

- 2018.7 ・南足柄市教育委員会様特別出前講座「きんたろうパパスクール2018」に協賛・参画
・「かながわサイエンスサマー」に協賛・参画（7～8月）
- 2018.10 ・アクティブサスペンションシステム（ASTRIC）展示：小田急70000型ロマンスカーGSE搭載）
・外付け式比例ソレノイド減衰力調整ショックアブソーバの展示
・カヤバ史料館一般公開の中断（2018.10.18～2022.3.31までの3年半）
- 2019.7 ・熊谷工場にて「親子工作イベント」開催
- 2019.8 ・相模工場・岐阜北工場・岐阜東工場・岐阜南工場にて「親子工作イベント」開催
- 2019.11 ・立ち読み史料館開催（相模工場・愛川工場・岐阜北工場）（写真8）



写真8 立ち読み史料館

- 2020.2 ・スマートセキュリティカメラ設置(写真9)



写真9 スマートセキュリティカメラ

- 2020.4 ・SA展示エリア見直し（～2023.3完了）
- 2020.10 ・免制振教訓風化防止展示パネル設置
- 2021.6 ・航空事業へオレオ移設
- 2021.8 ・二輪車用電子制御サスペンションシステム（KADS）展示
- 2021.12 ・ショックアブソーバSwingValveの展示
・ショックアブソーバProsmoth®の展示
- 2022.3 ・日本自動車部品工業会（JAPIA）主催「学生向けバーチャル企業見学会」カヤバ史料館にて開催
・「KYB史料館」➡「カヤバ史料館」へ名称変更
- 2022.4 ・通称社名変更に伴う特大ポスターを正面玄関に設置
- 2022.7 ・HC展示見直し活動開始（～継続活動中）
- 2022.8 ・「DNAパネル・主要製品年表・歴史年表・サイントワー8基」等の見直し開始
- 2023.2 ・「DNAパネル」更新
・「主要製品年表」更新
・「歴史年表」更新
・「サイントワー8基」更新
- 2023.7 ・走行モータ（MAG-33）部品の展開展示
・「かながわサイエンスサマー2023」に協賛・参画（7～8月）
- 2023.9 ・マイニング建機用ブームシリンダ・モックアップの展示
- 2023.10 ・ショベル用ロードセンシング（LS）システム：構成展示（ポンプ・バルブ・走行モータ・旋回モータ・シリンダ）
・開発品コーナーの新設（「油状態監視システム」「シリンダ油漏れ検知システム」（写真10）



写真10 開発品コーナー新設

2023.10 ・チェアスキーの更新展示（写真11）



写真11 チェアスキー

- 2023.10 ・バテッドシリンダの展示
- ・モータージャーナリスト「竹岡圭のカヤバ史料館訪問」(YouTube撮影・配信)
- 2023.11 ・片山右京氏バリダカ参戦時のラリースーツ展示
- 2023.12 ・オフロード車両向け1ピニオンEPS展示
- 2024.5 ・カヤバラリープロジェクトコーナー新設（写真12）



写真12 カヤバラリープロジェクトコーナー新設

- 2024.7 ・「Car Goods Magazine 9月号」にカヤバ史料館訪問記事掲載
- ・「かながわサイエンスサマー2024」に協賛・参画（7～8月）
- ・電子制御式ショックアブソーバの展示
- ・減衰力調整式ショックアブソーバ改良（低摩擦）の展示
- 2024.8 ・相模工場にて「親子工作イベント」開催
- 2024.11 ・「日立建機様公式ファンクラブプレゼント重機ファン感謝祭」にて「親子工作イベント」協賛・参画（於：埼玉県伊奈町ふじみ野）

・「鍍金の世界 11月号」にカヤバ史料館訪問記事掲載

2024.11 ・スマート道路モニタリングシステム展示（写真13）



写真13 スマート道路モニタリングシステム

5 神奈川県企業博物館連絡会への加盟

神奈川県企業博物館連絡会（以下県企博連）は、県内企業博物館相互の情報交換の場として1985年に5つの企業にて発足された連絡会である。

カヤバ史料館としては一般公開を開始した2006年の8月に加盟し現在に至っている。

現在の加盟は16企業に及び定例会を持ち回りで開催、カヤバ史料館も過去7回の幹事会社を務め、企業博物館のあり方や運営上の諸問題など会員相互の情報交換により、お客様満足の向上に向け改善を図ってきた（写真14）。



写真14 カヤバ史料館にての定例会

この県企博連を通じて行ってきた活動は種々あるが、主なものとして以下に記す。

5.1 アテンダントスタッフ研修会への参画

アテンダントの相互研鑽，ネットワーク作りを目的に開催されてきた。カヤバ史料館としては2008年9月より過去10回参画しアテンダントのレベルアップを図ってきた（写真15）。



写真15 アテンダントスタッフ研修会

5.2 かながわサイエンスサマーへの参画

神奈川県が実施する科学技術理解増進事業であり、子供たちや青少年に科学技術への興味を喚起し、学習意欲をさらに高めてもらうため、夏休み期間から秋にかけてこれに賛同する県内の科学館・企業などが実施するイベントである。

カヤバ史料館としては2017年7月に初参加し、直近では2024年8月までに計12回開催。参加申込者からの抽選で1日10組の親子限定開催とし毎年好評いただいている。（新型コロナ対策等で中断時期あり）

実施プログラムとしては「油圧（パスカルの原理）と摩擦（トライボロジーとは？）を学ぶ！」「顕微鏡でミクロの世界をのぞいてみる！」「オリジナルショベルカーフロント部工作！」「ミニショベルカー実機操作体験！」等々、盛り沢山の内容となっている（写真16、17、18、19）。



写真16 油圧（パスカルの原理）と摩擦（トライボロジー）を学ぶ



写真17 オリジナルショベルカーフロント部工作



写真18 ミニショベルカー実機操作体験



写真19 神奈川県下全小学校に配布されたリーフレット

またサイエンスサマーの波及効果として「オリジナルショベルカーフロンティア工作!」が外部からのオファーもあり「南足柄市教育委員会様特別出前講座」(2018.7),「日立建機様公式ファンクラブプレゼント重機ファン感謝祭」(2024.11)にて開催実施した。

あわせてカヤバ従業員のお子様対象として2019年夏には「熊谷工場〜相模工場〜岐阜北工場〜岐阜東工場〜岐阜南工場」, 2024年には「相模工場」と各事業所において「親子工作」として開催してきた(写真20, 21)。



写真20 親子工作 (於: 熊谷工場)



写真21 親子工作 (於: 岐阜北工場)

サイエンスサマーについては大変好評をいただいていることから、引き続き開催内容を充実させ継続開催していきたい。

6 まとめ (これからに向けて)

本誌69号でもお話ししたが、多岐にわたる製品群に対し、統一感のある「形態」「パネル」にてリニューアルを進め、様々な来館者の方が単独で見学されてもその内容が理解いただける展示としていきたい。

具体的には、従前からの史料館としてのコンセプトを基軸とし、展示リニューアルを計画的に展開していく。

「Our Precision, Your Advantage」

☞ カヤバの歴史と技術(設計・生産・製造)の強みをお客様にお伝えすること

☞ 従業員に対しては、カヤバの取扱分野が多岐にわたるため、全社の製品と技術の高さを知っていただき、モチベーションアップを図ること

あわせて諸外国からのお客様対応として、「英語」「中国語」の二言語を翻訳アプリを利用し、アテンション動画制作していきたい。

各事業・各部門の皆様には引き続きましてのご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

7 おわりに

お客様・お取引先様で来館ご希望の方がいらっしゃいましたら、カヤバ担当者より全社掲示板にてお申込みください。

また一般の方々への公開日も設けています。ご興味をお持ちの方は是非ご来館ください(詳細はカヤバHP内・カヤバ史料館をご参照ください)。

最後になりますが、カヤバ史料館はカヤバのDNAが、皆さんの身近な暮らしに繋がっていることが実感できる施設となっています。

メンバー一同、ご来館をお持ちしております。



カヤバHP内・カヤバ史料館



カヤバYouTube

著 者



小牟田 久美

2008年入社。技術本部カヤバ史料館。



藤澤 杏子

2008年入社。経理部（岐阜南駐在）、電子技術センター管理室、基盤技術研究所企画室を経て現職。



佐藤 智則

1984年入社。相模工場管理部、免制振対応本部お客様対応統轄部、岐阜総務部を経て現職。